

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	母子家庭等医療扶助事業						担当部	健康福祉部			
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系		担当課	保険年金課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	医療係			
	総合計画 分野別計 画	主目的	3 保健福祉		11 地域医療		5 国民健康保険事業・公費助成医療の適正な運営を図る					
		副目的	12-6									
	予算区分	款	3	項	1	目	3	大	3	中	3	
	根拠法令・個別計画	小牧市医療費の支給に関する条例										
	実施・運営 方法	<input type="radio"/>	市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/>	地域住民組織		<input type="checkbox"/>	一部又は全部委託		
		<input type="checkbox"/>	指定管理・外郭団体			名称:						
		<input type="checkbox"/>	NPO・その他			名称:						
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	母子家庭の母及び父子家庭の父並びに扶養されている18歳年度末までの子どもの医療費の自己負担額を助成することにより、必要な医療が受けられるようにするとともに、経済的負担の軽減を図る。											
内容 (手段)	<p>受給資格は、所得により判定されるため、毎年資格更新事務を行い、認定者に受給者証を発行し、資格管理を行った。県内医療機関における保険診療の自己負担分は、現物給付で、県外医療機関での受診、補装具等自己負担分は、償還払いで医療費の助成を行った。また、柔整、鍼・灸等の療養費も同様に助成を行った。福祉医療費の過誤調整、高額療養費との調整を行い、福祉医療費の適正化を図った。</p> <p>※母子家庭等医療の自己負担分について、県で1/2、市で1/2を助成する。また、現物給付分の審査支払手数料について、県が1/2、市が1/2を負担する。</p>											
受益者負担	無	内容										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	100,913	106,491	121,907	
		正職員	従事者数	人	0.40	0.30	0.30
			人件費	千円	2,146	1,609	1,609
		その他職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	151	119	332
		費用合計	千円	103,210	108,219	123,848	
	対前年比	%		104.8			
財源	一般財源	千円	52,371	56,734	63,534		
	国・県支出金	千円	50,839	51,485	60,314		
	その他財源	千円	0	0	0		

業 績	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23	
		受診件数	件	目標			—	—
				実績	34,889	35,448		
		受給者数	人	目標				—
				実績	2,887	2,942		
				目標				
			実績					
	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23	
		受診件数	件	目標				—
				実績	34,889	35,448		
			目標					
			実績					

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	受給者数、受診件数ともに増加している。母子家庭等の医療費の自己負担分を助成する事により、経済的負担が軽減され、必要な医療が受けられている。		
	事業を廃止・休止したときの影響	母子家庭等医療扶助事業は、経済的負担の軽減を図るための県補助制度であり、事業を廃止すると必要な医療が受けられなくなる危険性がある。		
	判定	B	市が実施(改善が必要)	
	判定理由	療養費や償還払い申請の審査事務を専門機関に委託することにより、より適正な医療費の助成が必要である。また、入力業務も委託することで効率的に事務がすすめられることから、改善が必要と判断した。		
	今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	平成23年度から柔整、鍼灸等療養費や償還払い申請の審査事務を専門機関に委託し、より適正な医療費の助成を図る。		

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)	
	判定理由	一次評価のとおり		